

### 異文化へのアプローチ 「台湾の社会と文化」



「親日派」として知られる台湾。日本に近いですが、その社会と文化はそれほど知られていません。この講座を通して多角的に台湾に触れてみてください。知らなかった台湾に出会えます。

2/16 金曜日 午後7時～8時30分

講師：郭 潔蓉 (カク イヨ)氏  
(東京未来大学教授)

会場：5階 研修室4

対象：16歳以上の方

定員：30人 (事前申込先着順)

受講料：1,000円 (一律)

### 芭蕉 (ばしょう)・蕪村 (ぶそん) の俳諧から子規 (しき) の俳句へ



俳句は日本で生まれた短詩です。世界にも広がり、ユネスコの無形文化遺産への登録も目指されています。本講座では俳諧の芸術性を高めた芭蕉から蕪村、俳句の創始者子規へというその歴史を、作品とともにたどります。

2/4(日)・11(祝)・18(日) 3日制  
午後2時～3時30分

出演：櫻方 真王 (おがた まお)氏  
(俳文学会東京研究例会 運営委員)

会場：5階 研修室2

対象：16歳以上の方

定員：20人 (事前申込先着順)

受講料：3,000円 (一般)  
2,100円 (高割・障割)

### もっと知りたい 「日本百名城の魅力」



戦いのためにつくられた建造物に備わっている芸術的な美しさ、お城にまつわる歴史的なロマン。日本の百名城より、お城の魅力をお伝えします！

2/2 金曜日  
午後6時30分～8時30分

講師：萩原 さちこ氏  
(城郭ライター、編集者)

会場：5階 研修室1

対象：16歳以上の方

定員：50人 (事前申込先着順)

受講料：500円 (一律)

### すくすく ベビーオイルマッサージ



1歳未満の赤ちゃんとお母さん・お父さんを対象に、楽しくお話しながらオイルマッサージをします。スキンシップは赤ちゃんとの大切なコミュニケーション。愛情を育み、健やかな成長につながります。

2/1 木曜日 ママの日

2/25 日曜日 ファミリーの日  
午前10時～正午

講師：田中 裕子氏  
(ベビーマッサージインストラクター)

会場：5階 保育室

対象・定員：1日：首の据わった1歳未満の子と母親12組

25日：首の据わった1歳未満の子と保護者8組

※各日事前申込先着順

受講料：各1,020円 (一般・教材費込)  
各864円 (障割・教材費込)

### スポーツ吹矢大会



スポーツ吹矢に参加されている皆さん、スポーツ吹矢愛好者の皆さん、日頃の成果を発揮してみませんか？初心者もベテランも、スポーツ吹矢をされたことのある方はお気軽にご参加ください！成績上位の方には賞品をご用意しております。

2/12 振替休日・月曜日  
午後0時30分～4時

指導：サザンさわやか倶楽部会員  
会場：4階 講堂

対象：スポーツ吹矢経験者

定員：40人 (事前申込先着順)

受講料：500円 (一律・保険料込み)  
※持ち物：お持ちの方はスポーツ吹矢用具一式 (筒・矢) を持参 (動きやすい服装・靴でお越しください。スポーツ広場で販売している体験用マウスピースは当日使用できません)

### 女性のための ゆったりヨガ教室A・B

託児あり



週に1回のヨガレッスンで、心と体がリラックスするひとときを楽しめます。初めてヨガを体験する方、無理なく体を動かしたい方のための初心者向けハタヨガのレッスンです。ヨガの呼吸法や動作を覚えながら、ゆったりとした時間を過ごします。

2/2～3/16 毎週金曜日 7日制  
A: 午前9時20分～10時20分  
B: 午前10時45分～11時45分

講師：西川 順子氏  
(ヨガインストラクター)

会場：4階 講堂

対象：16歳以上の女性の方

定員：各40人 (事前申込先着順)

託児：3ヶ月～3歳の子どもA: 5人、B: 10人  
受講料：3,710円 (一般)、2,618円 (高割・障割)  
受講料には保険料も含まれています。

託児料：3,640円 (1人7回分)

## ちよつと 気になる 千住のタテモノ

④名倉医院



名倉医院の入口の長屋門



旧診療所



貯水桶



大きな木製の表札

業祖から約250年、千住に今も続く名倉医院。黒く重厚な長屋門が初冬の透明な日の光の中、静かに佇んでいました。

古い家屋の残る宿場町通りを荒川に向かって進むと「右 旧下妻街道、左 旧日光道中」の石柱が立っています。その近く、広い駐車場の奥、黒い長屋門が目を引きます。江戸時代から続く名倉医院です。名倉といえは骨接ぎの代名詞として全国に知られています。現在も整形外科として門をくぐった右、新しい診療所で開業。旧診療所は嘉永元年(1848)、後の13代將軍 徳川家定の鷹狩りの休息所にするため、邸宅を改修したもの(足立区風土記稿 千住編 発行足立区教育委員会より)。大正の頃は一日に300から500人の患者が訪れたとも。これらの建物は昭和59年(1984)足立区登録記念物(史跡)になりました。千住にいらした時には、江戸から現在に至るまで多くの人がくぐった重厚な門構えを是非ご覧ください。

